

中国2 「読むこと(古典)」に関する問題④

年 組 番 氏名

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

木の花は濃こさも薄うすさも紅梅こうばい。桜は花びらがおほきに葉の色こきが、枝ほそくて咲きたる。藤ふたばの花は、しなひながく色濃こく咲きたるいとめでたし。

四月うづきのつごもり、五月さつきのついたちのころほほひ、橘たちばなの葉の濃こく青あきに、花のいと白しろう咲きたるが、雨うち降りたるつとめてなどは、世になう心あるさまにかし。

『枕草子』による)

問一 波線部「ころほひ」を現代仮名遣いで書きなさい。

問二 この文章を読んだ中学生がまとめた次の表について、後の問いに答えなさい。

紅梅	色が①、紅梅(がよい)	桜	花びらが①で、葉の色が②、枝が③咲いている。(のがよい)
A	しなやかに長く色濃く咲いているものが見事である。	橘	四月の末から五月の初め頃に青々と濃い葉をつけ、白い花を咲かせているのが、a雨の早朝に見られるのは世にないほどの情緒があり趣深い。

(1) 空欄①に当てはまる文章を次のうちから選び、記号で答えなさい。

- ア、(色が)濃こいものより薄うすいものの方が優すぐれるので
- イ、(色が)濃こいものも薄うすいものも
- ウ、(色が)濃こくなくても薄うすくなくても
- エ、(色が)濃こい薄うすいが入り交まじっている

中国2 「読むこと(古典)」に関する問題④

解答

問一 ころおい

問二 (1) イ

(2) ア

(3) 藤(の花)

(4) 雨うち降りたるつとめて(十一字)

〈現代語訳〉

木の花は、濃いものも薄いものも紅梅。桜は花びらが大きくて、葉の色が濃いものが、枝細く咲いているのがよい。藤の花は、枝がしなやかに長く曲がっているもの、色濃く咲いているものがとても見事である。四月の末、五月の初め頃に、橘が青々と濃い葉をつけ、白い花を咲かせているのが、雨が降っている早朝に見られるのは世にないほどの情緒があり趣深い。